

# 歴史の散歩 (13)

## 旧石旧領 II

前回に続いて東陽・白浜地区内村々の旧高旧領をみると表のとおりです。

領主の領有高を面積でなく、何石何斗と表わしますがこれは土地生産高をもって表示しているからです。

二十三村の総石高は、九、九八〇石七斗五升六勺となります。因に光町の昭和五十四年水稲の総収穫高は五、八四〇トン（約三万二、三七四石一斗五升六合）でした。

安中藩とは現在の群馬県安中

村名	旧領名	旧高
宮川	守中 越藤 内	765.1200
	郎三 弥藤 伊	256.4120
	五郎 与木 荒	113.3300
	丞之 久木 妻	7.2100
原方	丞之 新之 佐々木	283.2407
	知給 給力 与	111.2130
篠原	藩中 安	325.6200
	門衛 五左 黒田	199.4120
中谷	所藩 支配 官	97.0233
	藩中 安	487.4180
高野(西高野分)	藩中 安	60.7990
	藩所 支配 実官 生代	386.6290
惣垂	藩所 支配 中官 安代	33.9040
	藩所 支配 中官 安代	63.3590
尾戸	藩所 支配 倉	19.4190
	藩所 佐	715.5470

市にあった譜代大名で、下総国内には二三カ村一万五、〇〇一石余があり、匝瑳郡太田村(現旭市)に陣屋が置かれ、年貢の取集めが行われていました。生実藩は、現在の千葉市生実にあった譜代大名で下総国二ツカ村、上総国二カ村、相模国四カ村からなり一万六五八石余を領有していました。惣領村は、明治十年頃に尾垂村と合併して尾垂惣領村となりました。明治・大正頃の写真・書付等

所有されている方は総務課企画係へ御連絡ください。

有線 二〇三—〇三三

### 赤い羽根募金が はじまります

赤い羽根……この羽根には、人として生まれ、生きる喜びに満ちあふれ、すべての人がみんな幸せな生活ができるよう、みんなの力で明るく住みよい社会を作りたい。そんな願いがこめられています。

皆さんから集められたお金はいろいろな福祉事業、とりわけねたきり老人対策などの事業に役立てられます。

今年も次の期間、運動が展開されます。

皆さんのご協力をお願いいたします。

○実施期間 十月一日～十二月三十一日

○光町目標額 一、〇八四、〇〇〇円

○取扱先 役場厚生課福祉係

④四—一二三③二〇四—〇三三

### 人権よう護委員

### が替わりました

皆さんの人権を守る人権よう護委員が次のとおり替わりました。よろしくお願ひします。

### こんにちは

### 木戸子ども会

木戸子ども会へお邪魔しました。

結成四年目を迎えた木戸子ども会は、四十八名の会員がおり、年間に二十を超す行事をこなし、活発に活動しています。

育成会長として二年目を迎えた畔蒜邦夫さんは、「今の子ども達は、家の中にこもり



今日は楽しい盆おどり

がちだから、大人になっても故郷の思い出がうすいのではないだろうか。

会の活動で仲間どうしの輪を広げ、他人を思いやり、社会に眼を向けることを勉強した子ども達は、すばらしい思い出を作ってくれることでしょう。

役員さんも熱心で、部落の皆さんからも多額の芳志をいただくなど、助かっています。役員はいろいろとたいへんです。役員はいろいろとたいへんですが、私は子どもが好きだから……と語ってくれました。

木戸子ども会では、部落の外へ出る活動も活発で、老人ホームの慰問なども計画しています。子ども達を外へ連れて行くのは気骨の折れることと思いますが、それだけに畔蒜さんの「私は子どもが好きだから……」という言葉に重みを感じました。

○越川 久 新任(前任者平山安吉郎)

母子四七七 ④五—〇二八四

○越川 道男 再任

谷中一四六七④四—一九五三

◎十一月一日～三日 文化祭

場所 公民館・町体育館

申込、問合せは公民館まで

④四—一三五八③三〇五—〇一

皆さんふるって出品しましょう